

## 令和 5 年度岩手県保健医療計画（胆江保健医療圏）の取組状況について

## 1 岩手県保健医療計画（胆江保健医療圏）の推進

岩手県保健医療計画（2018～2023）は、医療法に規定する医療計画であり、毎年度医療圏ごとに関係機関・団体の取組状況を取りまとめ、圏域における今後の事業方向を、胆江圏域地域連携会議等で報告・協議して事業を推進していくものです。

## 2 照会先

- (1) 医療関係 13 団体（3 師会、病院・県看護協会奥州地区支部）
- (2) 福祉・介護関係 3 団体（市町社協、介護支援専門員連絡協議会）
- (3) 市町関係 3 機関（市町、保健所）

## 3 調査日

令和 6 年 12 月 20 日

## 4 重点的な取組の方向（胆江圏域）

- (1) 生活習慣病対策について
- (2) 心の健康づくりとメンタルヘルス対策について
- (3) 医療連携体制の推進と体制づくりについて

## 5 評価期間

2018 年度から 2023 年度までの実施事業

## 6 取組の評価

## (1) 事業数の推移

年度	事業数	増減
2018	260 事業	—
2019	287 事業	27 増
2020	278 事業	9 減
2021	322 事業	44 増
2022	331 事業	9 増
2023	360 事業	29 増

## (2) 評価方法

## ① 事業数

各機関・団体から回答いただいた「取組事業数」を基準として、「課題への対応のために想定される取組」（取組分野）に分類して評価しました。

## 7 取組状況と評価

## 1 生活習慣病対策

## (1) 取組分野

- ① 脳血管・がん対策
- ② 特定健康診査等の受診率の向上

- ③働き盛り世代の生活習慣病対策
- ④喫煙対策、子どもの肥満対策
- ⑤健康づくりの二次・三次予防等

(2) 取組状況① (事業数)

分野	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①	39件	38件	42件	50件【6】	53件【3】	56件
②	22件	27件	22件	23件【1】	24件	23件
③	19件	19件	7件	10件【1】	8件	9件
④	5件	7件	7件	6件【1】	5件	7件
⑤	5件	5件	3件	6件【1】	5件【1】	7件
合計	90件	96件	81件	95件【10】	95件【4】	102件

※【 】はうち新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止になった事業数

取組状況② (取組事業の重点事項)

資料1-2のとおり

(3) 総合評価 (事業数、取組事業の重点事項)

取組事業の重点項目については、医師会におけるがん検診、各種特定健診受託、薬剤師会における奥州市禁煙事業への協力、各医療機関における地域連携パスやがんに係る緩和ケアの取組、糖尿病に係る診療及び栄養指導、行政機関による生活習慣病予防に関する各種取組が行われており、幅広く積極的な取組が展開されています。

この6年間で、期間途中に新型コロナウイルス感染症の影響によりいくらかの事業中止等がありましたが、全体として事業数は順調に伸びてきており、生活習慣病対策の取組としての内容も多岐にわたって展開されてきたところです。

今後も継続して取り組んでいく必要があります。

2 心の健康づくりとメンタルヘルス対策

(1) 取組方向

- ① 事業所のメンタルヘルス対策、
- ② 精神科医療体制の整備、
- ③ 警察官通報等の体制・職員の資質向上、
- ④ 働き盛りの男性、高齢女性の自殺対策、
- ⑤ 精神科病院退院者の円滑な地域生活への移行

(2) 取組状況① (事業数)

分野	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①	33件	33件	35件	36件【2】	38件【2】	41件
②	5件	5件	6件	8件	9件	11件
③	3件	3件	1件	1件	1件	2件
④	16件	13件	16件	14件	14件	18件
⑤	10件	12件	8件	7件	9件	6件
合計	67件	66件	66件	66件【2】	71件【2】	78件

※【 】はうち新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止になった事業数

## 取組状況②（取組事業の重点事項）

資料 1 - 2 のとおり

### (3) 総合評価（事業数、取組事業の重点事項）

取組事業の重点事項については、各団体、医療機関での産業医によるメンタルヘルス対策の実施、各種研修会、講演会の実施、相談窓口での対応などの取組が行われています。

また、各自の組織における職員対象のメンタルヘルス講習等の実施による対策や精神疾患の医療体制として、奥州病院、おとめがわ病院、美希病院、総合水沢病院などで対応が行われています。

認知症患者の入院受入についても、江刺病院、総合水沢病院、まごころ病院などで対応されているところです。

行政機関では、妊産婦のメンタルヘルス事業や学生に対しての思春期保健講話の実施などを行っている他、心といのちの大切さを考える講習会やゲートキーパー養成研修、各種出前講座の実施などを通じて、幅広く心の健康づくりとメンタルヘルス対策を実施してきました。

また、自殺予防月間（9月）や自殺対策強化月間（3月）では、医療機関やスーパー等でのポスター掲示やチラシ配布による広報活動により気運の醸成に貢献しています。

この6年間で、全体の事業数は増えています。心の健康づくり、メンタルヘルス対策の取組については行政機関での取組を主としながらも、関係機関の協力も得ながら実施しているところであり、今後も関係機関との協働が欠かせないところです。

## 3 医療連携体制の推進と体制づくり

### (1) 取組分野

- ① 医療機関の役割分担と連携
- ② 医療従事者の人材育成
- ③ 地域包括ケアシステムの体制づくり
- ④ 在宅医療に関する関係者の連携
- ⑤ 分娩リスクに応じた医療体制の確保
- ⑥ 認知症に係る医療・介護の支援
- ⑦ 小児救急の適正な受診及び連携構築
- ⑧ 感染症に係る危機管理体制の構築
- ⑨ 災害医療に係る関係機関との連携強化

### (2) 取組状況①（事業数）

分野	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①	32件	34件	31件	34件【1】	35件	31件
②	11件	15件	9件	17件【7】	18件【3】	20件
③	3件	6件	18件	19件	23件【1】	32件
④	20件	21件	19件	28件【1】	28件【2】	27件
⑤	4件	6件	7件	6件【1】	7件	11件
⑥	18件	19件	28件	30件【2】	28件	31件
⑦	2件	2件	3件	3件	4件	2件
⑧	5件	6件	9件	12件	12件【1】	15件
⑨	8件	8件	7件	12件【9】	10件【1】	11件
合計	103件	117件	131件	161件【21】	165件【8】	180件

※【 】はうち新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止になった事業数

## 取組状況②（取組事業の重点事項）

資料1－2のとおり

### (3) 総合評価（事業数、取組事業の重点事項）

取組事業の重点項目については、医療機関の役割分担と連携では、保健所開催の胆江圏地域医療連携会議により、地域医療構想上の病床機能による役割分担と連携が図られた他、医師会による休日・夜間診療所への医師派遣協力や急性期を担う医療機関と回復期や慢性期を担う医療機関との連携も図られてきています。

地域包括ケアシステム構築に係る連携においては、歯科医師会による県立病院N S T回診への参加や研修会の開催、ケアマネ協議会作業部会への参加、障がい児、要介護高齢者への歯科保健サービス提供事業の実施、各医療機関での訪問診療や訪問看護ステーションによる在宅支援、レスパイト入院の実施など多方面の取組が行われています。

また、感染症対策では、保健所の感染症対策会議や関係機関とのWEB会議、訓練、研修を通じての情報共有と必要な調整、関係医療機関での発熱外来の運営、コロナワクチン接種の実施、コロナ患者の入院受入などに対応いただいているところです。

人材育成についても、各医療機関で各種実習や見学の受入を行っていただいているところです。

分娩リスクに応じた医療体制の確保については、県による岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏連絡会議で妊婦の緊急時受診体制についての関係機関間の情報共有を図った他、市町による産後ケア事業、交通費助成、妊婦の宿泊費助成等の支援の取組により妊産婦の負担軽減を図っているところです。

認知症に係る医療・介護の支援についても、おとめがわ病院による多職種連携セミナーの開催や石川病院の認知症サポート医との連携、市町による認知症サポーター養成講座、認知症初期集中支援推進事業、徘徊SOSネットワーク事業の実施など対応がなされているところです。

災害医療については、各医療機関において災害訓練、災害時の体制整備、災害看護研修の受講などを実施した他、保健所と関係医療機関間での衛星電話通信訓練を行い、関係機関間の連絡体制、連携方法の確認を行いました。

この6年間で、期間途中で新型コロナウイルス感染症の影響により一定数の事業中止等がありましたが、全体として事業数は増加しました。項目が多岐にわたり、様々な取組が必要とされる分野ですが、圏域として連携しつつ可能な対応をしている状況と思われれます。

今後も継続して取り組んでいく必要があります。